

図書館だより



no.245



2024（令和6）年1月5日発行

編集・発行 福島県立図書館

〒960-8003 福島市森合字西養山1番地

TEL 024-535-3218

Fax 024-536-4787

<https://www.library.fcs.ed.jp/>



講演会 「甲子園への道」 を開催しました

令和5年12月16日(土)、今夏の高校野球選手権大会に18度目の出場を果たした聖光学院高等学校硬式野球部監督である斎藤智也氏をお招きし、令和5年度「福島を生きる講座」第4回講演会を開催しました。

講演会では「甲子園への道」と題して、斎藤氏のこれまでのご経験や指導にあたっての考え方などについてご講演いただきました。

講演では、斎藤監督の指針となる本との出会いから始まり、聖光学院のモットーである「不動心」に至る背景や、人間的な成長が強さに結びつくことなど、多くのエピソードを交えながらお話しいただきました。

当日は県内中学校、高等学校野球部の生徒の皆さんをはじめ、たくさんの方々にご来場いただき、盛会となりました。



休館のお知らせ

令和6年2月5日(月)から

令和6年2月27日(火)まで

上記の期間、図書特別整理および館内設備修繕のため休館します。
本の返却は、「返却ポスト」をご利用いただけます。



福島県教育委員会 公式note

福島県立図書館では福島県教育委員会公式note「福島県学びの情報プラットフォーム」にて、イベントのご案内や資料の調べ方案内など随時お知らせを更新しています。
ぜひご覧ください。

URL <https://fukushimapref-edu.note.jp/>

新着案内

各分野の担当者が選んだ、お薦めの新着資料をご紹介します。

人文・自然・社会

『現代陶芸論』外館 和子／著 阿部出版 2023.6
751/トカ 236

本書では、現代陶芸の本質は「創意」にあるとし、その上で「鑑賞主体のうつわ」、「具象的陶芸」、「自由造形的陶芸」、「用途の陶芸」の4つに分類。それぞれのルーツと特徴を明らかにしています。

多様化する現代陶芸の世界を楽しむうえで見取り図になる資料であり、掲載されている写真からは、作品への創意と熱意が感じられます。日用品と芸術作品の面を併せ持つ、現代陶芸の世界に触れてみませんか？

『めくるめく数学。女性数学者たちが語るうわしき数学の物語』嶽村 智子, 大山口 菜都美, 酒井 祐貴子／著
明日香出版社 2023.9 410.4/外 239

ホールケーキを3等分に切り分ける方法、早く進む行列への並び方、推しのグッズを引き当てる確率など、日常生活の疑問を数学がすっきりと解き明かしてくれます。数学は遠い世界にあるのではなく、わたしたちの身近なところに息づいています。3人の女性数学者のテーブルに招かれて美味しいお茶をご馳走になったような、そんな楽しさのある本です。

『源氏物語を楽しむための王朝貴族入門』繁田 信一／著
吉川弘文館 2023.10 210.37/シ 23X

古典文学の代表である源氏物語は、史実と異なる設定で描かれていることを知っていますか？ 当時の人々は物語に深みをもたせるフィクションとしてその設定を楽しみました。本書では、源氏物語が成立した平安時代中期を中心に当時の貴族たちの文化や仕事、生活模様を解説しています。史実と物語ではどこが異なり、その違いは何を表しているのか、など源氏物語への理解をより一層深めることができる一冊です。

児童・児童図書研究

『現代日本子ども読書史図鑑』佐藤 宗子, 久米 依子／編
終風舎 2023.1 J019.5/サ

1950年～1999年までの戦後から20世紀後期という時代に、「子どもたちはどのような本を読んできたのか」がわかる一冊です。年代ごとにまとめられているため、時代背景などを含めて当時読まれていた本を知ることができます。

特徴的なのは紹介されている全ての作品に充実した解説がついており、その解説が編者だけでなく、大学教授をされている方や図書館に勤めている方など、さまざまな立場の方によって書かれているという点です。それによって各分野のプロフェッショナルの視点で、多方面から作品を知ることができます。戦後の絵本や児童書の歴史を知りたいという方にぜひ手に取ってほしい一冊です。

雑誌・新聞

冬の色々な楽しみについて特集された雑誌をご紹介します。ぜひご利用ください。

『サライ』Z051/S16 2023.12(第35巻第12号)
特集「全国ごちそう温泉」

『旅の手帖』Z291/T1 2023.12(第47巻第12号)
特集「まだまだ、もっと、サウナ旅！」

『趣味の園芸』Z610.5/S1 2023.12(通巻609号)
特集「冬の寄せ植え」

『旅行読売』Z689/R1 2024.1(第952号)
特集「1万5000円で泊まる名湯の宿」

『岳人』Z786/G3 2024.1(通巻第919号)
特集「冬の山 レベル別雪山コースガイド」

『婦人画報』Z051/F5 2024.1(NO.1446)
特集「婦人画報の温泉宿アワード」

地域

『飯館村の母ちゃんたち 福島・女性たちの選択』
古居みずえ／著 彩流社 2023.7 LS/369.31/F50/1

原発事故によって村全体が避難を強いられた飯館村。震災以降、この村で取材を続けてきた、著者のドキュメンタリー映画を書籍化した一冊です。避難当時から帰村とその後に至るまで、辛い状況の中でも明るくたくましく生きる女性達からは、村を愛し村で暮らしたいという強い思いが伝わってきます。また、映画の内容に加えて、飯館村の食文化や暮らし、戦争の記憶など、震災以前の村についての貴重な聞き書き等が綴られています。

『織姫日記』奥会津書房／編「織姫日記」作成委員会
2023.10 L618/02/1

昭和村のからむし織体験生事業は今年で30年を迎えます。この本は、からむし織体験生である「織姫」の1期生から16期生までの方々の、日々の体験日記の一部を一冊にまとめたものです。畑仕事や糸づくり染色、機織りなど、織姫の方々の一年間の様子を垣間見ることができるとともに、織姫の方々がからむし織に対してどのように向き合い、何を感じたのかということも知ることができます。また、昭和村での暮らしについて、様々なエピソードも綴られており、村民の方とのあたたかな交流の様子も伝わってきます。

織姫の方々の、からむし織と昭和村への思いがたくさん詰まった一冊です。